

令和4年10月13日
政策経営部港湾臨海部対策担当

令和4年度 第二回豊洲市場に係る都区連絡調整協議会について

1 開催日 令和4年10月3日（月）

2 主な協議内容

- ・都区間の協議事項のうち、土壌汚染対策及び千客万来施設事業等について都側から現状説明後、質疑。
- ・千客万来施設事業に関しては、工事が順調に進捗していること、出店の呼びかけを広げつつ出店希望の企業とテナントリーシングの交渉を継続していること等について都側から説明。

(1) 土壌汚染対策について

区側	都側
<p>・地下水質の汚染状況が空気調査結果に影響を与えないなど、総合的な評価に向けた検討状況はいかがか。</p>	<p>・地下水質と空気調査結果との因果関係については、引き続き、数値の積み重ねを行っているところである。こうした中、分かりやすい情報発信をするためのステップとして、今回、区部の大気観測局と豊洲市場との比較という新しい資料をお示しした。</p>

(2) 千客万来施設事業等について

区側	都側
<p>・テナントリーシングについて、この間も170店舗以上という目標であったと思うが、現在の交渉の進捗状況を伺う。コンセプトどおり交渉は進んでいるのか。</p>	<p>・現時点で具体的な交渉を行っている店舗数は、目標に達しているわけではないが、市場関係者や築地場外関係についても一定数交渉は進めているところである。引き続き、新たな店舗に出店を呼びかける努力は継続している。</p>
<p>・江戸前場下町の延長について、事業者との交渉結果はどうなったのか。千客万来施設が開業するまでの間、どのようなスキームで運営していくのか、具体的に教えてほしい。</p>	<p>・現行の運営事業者との協議では、現在の運営形態のままで賑わいを図ることは困難との考えに至っている。このため、現行の建物を活用しつつ、新たな事業者からの企画提案なども受けながら、都として、イベント等の活性化策を加える形を検討している。</p>